

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info\_jase@faje.or.jp URL https://www.jase.faje.or.jp 発行人 石川哲也 編集人 小澤洋美  
© JASE. 2023 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

「梅毒」急増！実態と、増加の要因について…………… 1	新連載 出会は世界を広げていく①…………… 9
新連載 わたしたちの性教育アクション①…………… 7	今月のブックガイド…………… 10
多様な性のゆくえ②…………… 8	JASEインフォメーション…………… 11

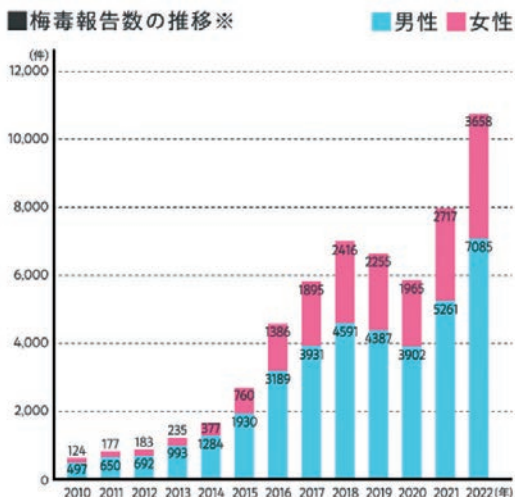
## 「梅毒」急増！実態と、増加の要因について

パーソナルヘルスクリニック院長 塩尻 大輔

### はじめに

2010年あたりから日本国内で増加し始めた梅毒。もともと年間500人程度の感染者の報告があったが、2022年には1万件(人)を超えた(図1)<sup>(注1)</sup>。性感染症(以下、性病)を専門でみているクリニックでも梅毒の相談は劇的に増えている。

図1 梅毒報告数の推移 2010年～2022年



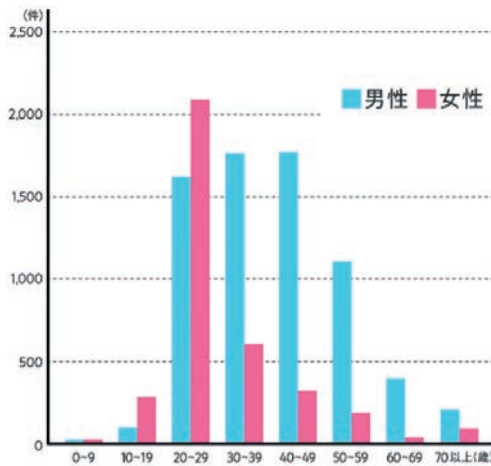
なぜここ数年で、梅毒感染者が急増しているのか、その要因は何なのか、今後何に気をつければいいのか、専門医師の立場から詳しく説明する。

### 梅毒とはどんな病気か？

梅毒は、スピロヘータという細菌の一種である「トレポネーマ」という細菌が起こす病気である。主に性行為がきっかけで、梅毒感染者の性器や口腔の皮膚・粘膜に直接接触した時に、小さな傷から侵入することで感染する。具体的には性器と性器、性器と肛門(アナルセックス)、性器と口の接触(オーラルセックス)等の性行為が原因となる。

厚生労働省の、年代別にみた2022年の報告数(次ページ図2)<sup>(注2)</sup>をみると、女性は20～29歳の数が圧倒的に多く、続いて30代、40代となっているのに対し、男性は20代から40、50代まで幅広い年代の方から陽性者の報告がみられる。梅毒は性病であり、性行為があつて初めて相手に移すということから、この男女の年代別分布にも納得がいくだろう。女性は主に性風俗に従事している20代が多く、そのサービス

図2 年代別にみた梅毒報告数 (2022年)



を受ける男性は若者から60歳以上に幅広く分布していると考えられる(図2)<sup>(注2)</sup>。

### 梅毒の自然経過

梅毒は、一般的な診療で菌を直接確認することは不可能である。通常の見視野光学顕微鏡では視認できないため、筆者も実物は見たことがない。写真1は国立感染症研究所のウェブサイトからで、多くの文献で引

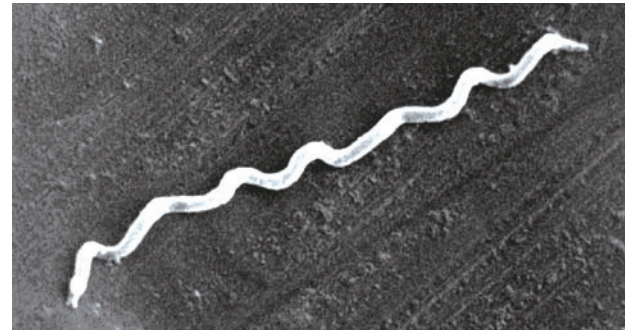


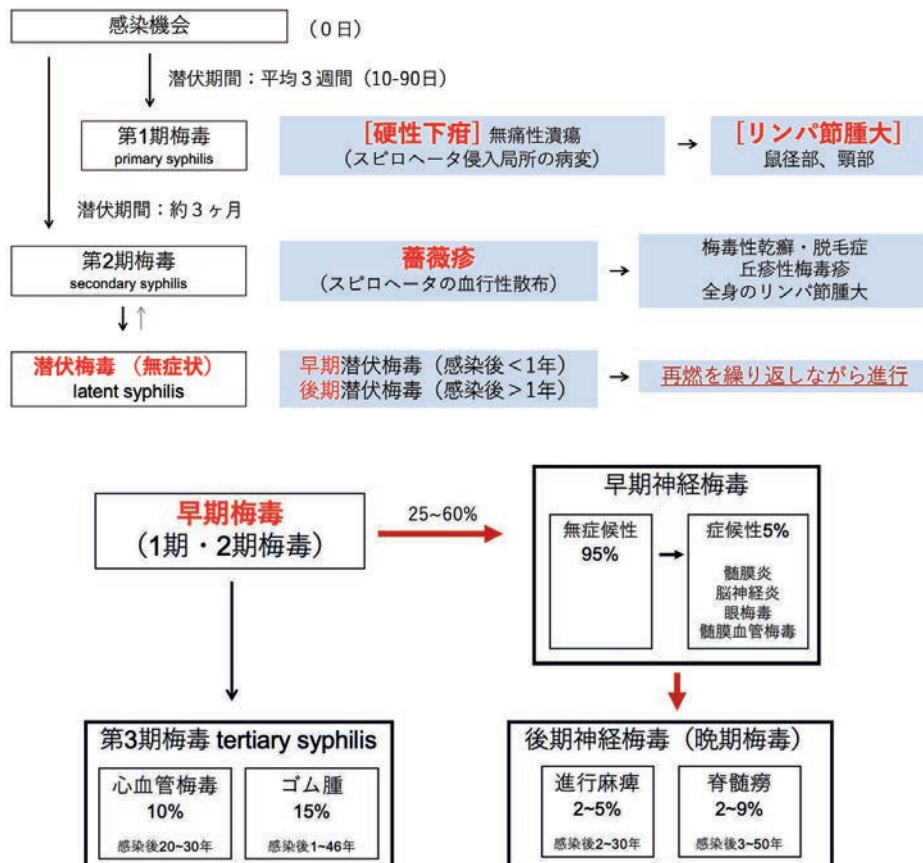
写真1 「梅毒」螺旋状菌 (Photo: 国立感染症研究所)

用されている写真である。菌を試験管内で培養を試みても不可能であり、そのため梅毒の診断は、感染機会があったとしてもそう簡単には早期発見できない。

性病は早期発見が大切だが、通常の性病(クラミジアや淋病)は数日経てば検査ができるのに対し、梅毒は感染機会があってから、少なくとも3、4週間ほどの日数が必要になる。これは梅毒の採血検査で抗体反応が見えるまでの期間である。

では梅毒の症状はというと、約3割の感染者が3週間程度で陰部(侵入部位)にしこりができる(初期硬結)。これが第1期梅毒と言われる。やがてしこりの中心部が潰瘍を形成し硬性下疳<sup>げ かん</sup>となる。硬性下疳は、

図3 梅毒の自然経過 (筆者作成)



トレポネーマの侵入門戸である。痛くないのが特徴的であるため、しこりができているのに見逃されることは多い。大きくなると気づくが、小さなしこりがまず陰部にでき、痛みがないためそのまま経過観察する方が多い。

女性の場合もしこりが陰部にできるが、男性以上に発見が難しい。外陰部だと多少見つかることもあるが、膣の中だと確認が難しいため、痛みがなければそのまま性交渉をしてしまう。そのあと少し遅れて出現するのが鼠蹊部のリンパ節腫大。これも圧痛はなく、気がつかないことが多い。このしこりもリンパ節腫大も3週間ほど経てば自然と消失するが、自然治癒したわけではなく、体内で進行していく。

感染機会からおよそ3か月が過ぎたあたりで第2期梅毒が始まり、手掌や足底をはじめ全身に発赤疹（薔薇疹）が広がる（写真2）。全身に発疹が出現するため、ここで初めて異変に気づき受診してくる方も多くいる。これも未治療であれば、少しあとから梅毒性乾癬・脱毛症や丘疹性の皮疹が出現する。これらも痛みや痒みがないことがほとんどで、かつ治療をしなくても発疹が消えてしまうことがあるため、早期に発見・診断されないこともしばしばである。



写真2 手のひら、足の裏に出てきた発赤疹（薔薇疹）  
(Photo: Personal health clinic)

抗生剤がありふれているため、現代ではほとんどみることはないが、治療せずに放置した場合、長期間の経過で第3期梅毒に突入し、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがある。かつては未治療患者の約3分の1が進行し、その結果、約4分の1が死亡したとされる。

妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある。また、生まれてくる子供の神経や脳などに異常をきたすことがある（先天梅毒）。そのほか、神経梅毒という合併症もあり、第2期以降いずれの時期にも起こりうる。早期神経梅毒は5%ほどが症候性で髄膜炎や眼梅毒などを起こす。後期神経梅毒だと進行麻痺などを起こし、髄膜脈管炎からの神経変性、

脳萎縮による人格変化、錯覚、妄想、幻覚、見当識や洞察力の低下などが起こる。

このように梅毒の自然経過が緩やかかつ無痛に近いということが、かえって病識の低さや、言わずもがな感染拡大の原因になっていると考えられる。

## 梅毒急増の理由

では梅毒はなぜここ数年で急増したのか。そこには梅毒の性質と、現代の人々の交わり方、性のあり方が多く関係している。

### 梅毒急増の理由その①

#### ～SNS出会い系アプリを通して知り合う～

マッチングアプリやSNSでの出会いが普及し、現代では友人以外のコミュニティ・年齢がかけ離れた人とも、気軽に交わるようになった。性別関係なく不特定多数の人との性交渉が行いやすくなり、そこから性的な出会いが広がったと考えられる。

性風俗店に所属している女性の場合は定期的な性病検査を受けることが義務付けられていることが多いため、性病というものが何なのかは働いていると少しずつ分かってくるものだが、個人でマッチングアプリを使い性サービスの出会いを求める場合では、性病検査は個人の判断になってしまっている。

そもそも性病そのものの存在すら知らないケースが多く、陰部・咽頭の異変に気づいて初めてクリニックに訪れるケースがしばしばみられる。もともと肉体関係をもつつもりがなかった人でも、その場の雰囲気や金銭の授受が発生することで、性交渉に至るケースもあるが、その場で性病予防に気が回る人は多くはないだろう。

また、そういった場でコンドームを使用しない性交渉を求められ、対応に苦慮する若者の話も多く耳にしている。性風俗店でもそうだが、ひとりが梅毒に感染してしまえばあとは数珠繋ぎであり、感染者は指数関数的に増えていく。これが不特定多数相手の場合、梅毒にかかったことが分かったとしても相手の特定は難しく、連絡は取りづらいため、検査等を促すのは困難である。

SNSの繋がりであれば相手の特定ができることもあるが、過去どれくらい遡って性交渉した相手に伝え

るのが難しいため、なかなか連絡するまでに至らない。こうした、インターネットの普及とともに急激に増えた、SNSの活用による不特定多数との出会いの増加が、梅毒感染の急激な拡大の原因の一つと考える。

### 梅毒急増の理由その②

#### ～日本へのインバウンド～

訪日外国人旅行者数がここ10年で4倍近くにまで増加したと観光庁が発表している。新型コロナウイルス感染症が蔓延したあとは冷え込んだが、また増加傾向である。外国人が海外から持ってくるものの一つに性感染症がある。

2010年以降梅毒が増加傾向である背景には、外国からの買春目的の観光者数の増加が原因としてあるとも指摘されている。中国や東南アジアといった国では、日本に比べてもともと梅毒感染者数が多い。そうした国の人たちが客として日本の風俗店に流れてくることで、日本における感染者が増えた可能性がある。

### 梅毒急増の理由その③

#### ～新型コロナウイルス感染症～

コロナウイルスとの直接的な関わりは全くないが、これによる経済的影響が梅毒拡大の大きな原因の一つと考える。コロナにより、休業、廃業、倒産などが現実となり、様々な方の収入が落ち込んだであろうことは想像に難くない。バイト先が急になくなった学生、フリーターやシングルマザーが増え、家計が苦しくなったり、親からの仕送りが途絶えた学生が増えたりと国内で困窮者が増加した。

このような人たちが苦肉の策として、夜の商売、性風俗業に従事し始めるケースが以前より見られるようになった。性風俗業は店舗型や出張型のいわゆるお店に雇われる働き方もあれば、アプリ・SNSを通して自身で顧客を探す方法、パパ活やママ活がある。

「コロナがきっかけでバイト先がなくなったが、親に心配をかけられないので始めました」という学生や、「夫の収入が減ったので夜のお仕事を先月から始めました」と話してくれた専業主婦の方もいた。

2020年の新型コロナウイルス感染症以降はこうした方々の相談は爆発的に増えたが、共通していることが一つある。それは、「性病」に関する知識がほとんどないことだ。

「性病ってこんなにたくさんあったんですね、知らなかった」

「私はならないだろうと思っていたのに、こんなに簡単に移るんですね」

などと話す。なかには涙を流しながら自身の経験を語る方もいる。

「わたし何やってんだろう、こんなに苦しい思いをして、パートナーには移ってしまうし、お金は全然貯まらないし」と、ある方は淋病と性器ヘルペスが合併した際の診察で打ち明け、その後に梅毒も発症した。

コロナ禍で明らかに多くなったのが性風俗の「ノースキン」(コンドーム着用せずに性行為を行うサービス)である。コンドームなしのほうが高い金額が受け取れるということで、お店側が強制的にサービスの方針を変えたと報告してくる風俗嬢たちもいる。性病予防に大切なコンドームが着用されないということは、梅毒だけでなくその他数多くの性病が蔓延する原因となる。

その他に、風俗嬢で妊娠が発覚した方が来院されたこともあった。性病のスクリーニング検査を行ったが、幸い全て陰性だった。性病の中には妊娠中でも治療が可能なものもあるが、妊娠中に梅毒に感染すると、流産や死産のリスクが高まる。また母子感染が起こった場合は、さまざまな先天異常が出ることがある。

このように、経済的な理由で性産業に従事し始めても、本人の想像もしなかったような性病にまつわるトラブルが発生している。

### 梅毒急増の理由その④

#### ～梅毒感染はとにかく発見が遅い～

##### ●長い潜伏期間

梅毒は、感染機会から発症まで(もしくは検査が可能となる時期)の潜伏期がとにかく長い。これは、感染機会があったことを当の本人が忘れてしまう可能性があるということだ。仮に3、4週間前に風俗店へ行ったとしても、そのことをつい忘れて(無自覚なので)大事なパートナーと性行為をしてしまう。

「同僚と飲んだ弾みで性風俗に行った」というようなことは、サラリーマンは一度や二度はあるかもしれないが、実際その後に性病検査を受けた人はそう多くないと思われる。

風俗へ行った後に心配になって検査を受けたとしても、潜伏期間が長いので有効な検査を受けられるまでに3、4週間ほどかかる。この間にパートナーとの性行為を上手く避ける方もいるだろうが、避けられない事情もあるだろう。

「妊活中なのに風俗にいつてしまって、もうすぐまた性行為をしないといけないんですが、梅毒にかかっているかも考えると、うつすのが怖くて」というような相談は何回か受けている。

#### ●無自覚で進行

先に述べたように、第1期梅毒では、出現する硬性下疳は無自覚がほとんどであり、陰部のしこりに気付かずそのままパートナー・不特定多数との性行為に至ってしまう。

第2期梅毒で全身に発疹が出現し診断を受けたとしても、感染機会から3か月経ったあとであるため、この間にパートナー、もしくは不特定多数の方に感染を広げているということになる。

#### ●初期・早期梅毒では検査が陰性になる！

梅毒の検査は血液検査で行う。血液から体内が反応して産生した「抗体」を調べ、梅毒の感染有無を確認する。梅毒が陰部や咽頭から体内に入って血流に散布して、身体が反応して抗体を作り上げる期間までを「Window period」(潜伏期間)という。この期間がだいたい最低でも3週間以上となる。この潜伏期間に検査を繰り返し行っても抗体が産生されていないため、陰性となることはお分かりいただけると思う。感染機会からすぐに受診して、「梅毒の検査を受けたいんです」と言われても何もできない。

一つ注意が必要なのは、感染機会から3週間後に陰部にしこりができても、それが梅毒の硬性下疳なのかどうか、はっきりしないことも多いということだ。経験のある医師なら視診だけでも診断をつけることが可



写真3 男性の陰部、亀頭部の下(環状溝)にできた硬性下疳 (Photo: Personal health clinic)

能だが、梅毒の初期硬結を見たことがない医師なら、しこりをみただけでは梅毒を鑑別にあげることが難しいだろう。

その時点でまだ感染機会から3週間経ったくらいなら、血液検査をしてもギリギリ抗体が上がってこないこともある。そのため、極早期の梅毒の場合は、しこりはあるが梅毒検査が陰性と出ることもある。これが梅毒の診断が難しい理由の一つであり、梅毒を診たことがない医師が見逃してしまう理由の一つでもある。それでも男性の場合は陰部のしこりが気になり性行為を自粛することもあるが、風俗嬢の場合、しこりは分かりにくく、検査も陰性になった場合は、仕事は継続できることになる。

例えば、性風俗店の規定で毎月検査を受けることにはなっているが、その月々の検査で梅毒が陽性となるまでは、タイミングによっては感染機会から2か月近く経っていることもある。この間にこの一人が相手した人数は数十人から100人以上に及ぶこともあるだろう。

### 梅毒はなにをすれば予防ができるのか？

一般的にはコンドームをつけることで、梅毒やその他の性病(クラミジア、淋病、HIVなど)に対して予防効果がある。女性が低用量ピルを使用していると、「ピルで避妊できているから大丈夫」とコンドームをつけない性行為を求められることもあるようだが、ピルは性病の予防にはまったくならない。コンドームの着用がまずは性病感染の可能性を低くするためのツールとなる。

ただし、コンドームを使用するだけでは残念ながら性病を100%防ぐことができないのが現実である。ディープキスやオーラルセックス(フェラチオ)だけでも梅毒は感染が可能だからだ。風俗のサービスでオーラルセックスのみを受けて、自分は大丈夫だと考えている方は多くいる。

その他にも素股(挿入はないが性器と性器を擦り合う行為)だけでも、性病は感染してしまう。特定のパートナーとだけ性交渉をしている方でも、相手が風俗へいったかどうかは残念ながらわからないため、リスクをゼロにすることはできない。

梅毒から100%身を守ることは難しいかもしれな

い。だが、定期的に梅毒を含めた性病の検査を受けるのは大切だ。早期発見・早期治療は基本であり、自身の身を守るのには一番である。特定のパートナーがいる方でも、年に1回でいいので、性病検査を受けてみるとよい。不特定多数の人との性交渉をもつ方は、定期的な検査が特に重要になる。

梅毒の予防ができるワクチンはないが、予防薬といえるものが2022年7月に国際エイズ学会で発表された<sup>(注3)</sup>。内容としては、ドキシサイクリンという薬を2錠、性行為後72時間以内に内服することで、各性病における四半期ごとのリスク低減が大幅に認められた(梅毒87%, クラミジア88%, 淋病55%)。

これをDoxy-PEP(ドキシペップ)と呼ぶ。日本では承認されておらず、国内の文献はほとんどないが、海外の文献はいくつか出ているため参考にはなる。この方法は賛否両論あるが、性感染症の拡大を食い止める鍵になるかもしれないと著者は考えており、期待している。

#### 【引用文献】

(注1) 厚生労働省ホームページ：梅毒報告数の推移 2010年～2022年

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html)

(注2) 厚生労働省ホームページ：年代別にみた梅毒報告数(2022年)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html)

(注3) <https://programme.aids2022.org/Abstract/Abstract/?abstractid=13231>

#### おわりに

梅毒は昭和42年(1967)に年間約1万1千人の感染報告がされて以降、減少していたが、近年の急増は日本だけでなくアメリカやカナダでも起きているとの報告がある。梅毒は性交渉以外ではほぼ感染機会がないため性交渉の際だけ気をつけようつらない、と言うことは簡単だが実は難しい。

性交渉は一人で行うものではなく相手がい、その相手との関係性が鍵となる。性感染症の予防や避妊のことも含めお互いのことを考えられる関係性を築いていただければと思うが、なかなか上手くいかないのが現実だ。SNSにおける不特定多数との出会いなどは海外でも問題視されており、お互いのことをよく知らないうちに性交渉に至ることが多くなっているのが昨今の課題だと考える。できるだけご自身のこと、パートナーのことを大切にしてほしい。

## JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室

### 資料室について

JASE 資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約6万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

【閲覧】必ず事前に電話で予約が必要です (tel 03-6801-9307)。貸出業務は行っていません。

【開室日・時間】 しばらくの間、月～金曜日 11:30～16:30

【休室日】 土・日曜日、祝日、年末年始 ※この他、会議等で臨時に休室することがあります。

【コピーサービス】 コピー料金は用紙サイズにかかわらず1枚10円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。

<https://www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html>

### 資料室 利用方法

### 収集文献 ・資料

統計・調査報告書、ジェンダー・フェミニズム、性教育一般・性教育の歴史的資料、国内雑誌、障害者、セクソロジー(自然科学系、人文・社会学系)、民俗学・文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、幼児期～青年期、国内学術誌、国際(海外団体資料・海外学術誌)、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE 刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集・マンガ、江幡・篠崎・朝山・石川・ダイヤモンド文庫、ほか。

[https://opac.jp.net/Opac/search.htm?s=NS1JEYq24WsoCGy\\_N7GNQ\\_WQaeg](https://opac.jp.net/Opac/search.htm?s=NS1JEYq24WsoCGy_N7GNQ_WQaeg)

## わたしたちの 性教育 アクション

### 始まりは情報交換のための市民サークル

多摩川を挟んで東京都と隣接する神奈川県川崎市は、来年（2024年）市政100周年を迎える政令指定都市です。2002年に連日ニュースを賑わせたアザラシのたまちゃんが最初に見つかった地域でもあります。市内は7区から構成されていて、区によって特色や生活の様子、抱える課題が異なります。市内には、様々なジャンルの社会課題に取り組む市民団体や地域団体が数多く存在します。

ある市民団体に携わる方が「性教育についても学びたい」と思い立って、仲間を誘って情報交換のための小さな会を企画したことが、私たちの団体の始まりです。2021年春のことでした。

第1回の集まりはたった3人でZoomで行いました。少しずつ参加者を増やしなが、毎月1回のペースでZoomを繰り返していきました。

### 外に向かって発信する団体に衣替え

内部で勉強会を繰り返すうちに「市内の課題を解決する活動に取り組もう」という機運が少しずつ醸成され、2021年秋に、情報交換のサークルから、川崎市内に包括的セクシュアリティ教育を発信する団体に衣替えしました。

Vision（実現したい世界）は、「包括的セクシュアリティ教育のユニバーサルアクセスが叶う住みたくなまち」

Mission（Vision達成のために果たす使命）は、「あらゆる川崎市民に包括的セクシュアリティ教育を届ける」

### 絵本を作る

このようにどんな団体にしたいかが決まったころ、2021年も残りわずかとなっていました。「VisionやMissionを達成するために具体的にどんな活動をしようか？」という話し合いの中で、「性教育絵本を作る」

新連載 #1

## 川崎から届けたい 包括的セクシュアリティ教育

かわさき包括的セクシュアリティ教育ネットワーク Csexologue



絵本完成イベント時のメンバー集合写真と絵本

というアイデアが出ました。何人かのメンバーが「著作権を気にせず読み聞かせができるオリジナルの絵本があればいいのに」と言ってくれたことがヒントになりました。

市内の公益財団法人が運営している助成金をいただき、2022年の1年間かけて絵本制作を行いました。ストーリーを考えたメンバー、鋭い意見で気付きを促してくれたメンバー、絵を描いたメンバーを中心に性教育絵本『ゆめのかなうまち』が完成しました。完成後の寄贈の時など絵本の制作過程以外で持ち味を発揮して役割を果たしたメンバーもあり、団体一丸で成功させた絵本制作事業になりました。この活動を通じて「人の集まり」であったこの団体が、少し「チーム」や「組織」らしくなったように感じます。その後の活動については、次号で詳しく報告します。

（文責・柳田正芳）

かわさき包括的セクシュアリティ教育ネットワーク Csexologue  
（略称「カワセク」）

Csexologueは「セクソロジー」と読み、包括的セクシュアリティ教育の頭文字である「CSE」、性科学を意味する「sexology」、対話（dialogue）や独白（monologue）の接尾辞「-logue」を合体させた造語です。

川崎市在住・在勤・在学の方なら正会員として参加可能です。市外の方も賛同会員として参加していただけます。ぜひ一度ホームページをご覧ください。

代表／柳田正芳 事務局／助産師のん

<https://kawasekucse.com/>

## 変わってしまわないことのリスク

岸田文雄首相は2月17日午後、性的少数者を支援する3団体の代表らと首相官邸で面会した。NHKの報道によると、首相は『先に更迭した総理大臣秘書官の差別的な発言を陳謝し、多様性が尊重される社会の実現に向けて、努力していく考え』を伝えたという。首相官邸の公式サイトも、会合の開催と首相の冒頭あいさつを動画付きで紹介している。(欄外アドレス参照)

出席者はプライドハウス東京、LGBT法連合会、NPO法人ReBitの3団体の代表らで、政府からは岸田首相に加え、小倉将信・内閣府特命担当大臣と中谷元(国際人権問題担当)、森まさこ(女性活躍・LGBT理解増進担当)の両首相補佐官が同席した。

会合の冒頭部分はメディアにも公開され、その様子は当日のテレビやニュースサイトでもかなり報じられている。当初は30分の予定だったが、実際の会合は1時間近くに及んだという。

岸田首相は2月1日の衆院予算委で同性婚制度について「家族観や価値観、社会が変わってしまう課題だ」と答弁している。「社会が変わってしまう」とはどのようなことなのか。導入に消極的との印象も受けるが、その真意を首相は「例えば制度や法律が新しく変わるということを表している」と説明したという。

会合に出席したプライドハウス東京の松中権代表はこうした説明について「本当に制度、もしくは法律をつくっていくことが『社会が変わる』ということなのであれば、多様性をきちんと受け止めるための制度・法律をつくっていくという首相の意思を示されているのかなと感じた。ぜひ、その制度・法律づくりを進めてほしい」と述べている。肯定的なニュアンスではあるが、政権に対する当事者からの牽制球と受け止めておく必要もあるだろう。

松中さんらは同じ2月17日の午前中に東京・千代田区永田町の内閣府を訪れ、『G7広島サミット及びG7大臣会合においてLGBTQ+に対する取り組みを議題にすること等の要望書』を提出した後、千代田区内幸町の日本記者クラブで記者会見を開いている。

会見の時の松中さんの肩書はwork with Pride代表だった。『日本の企業内でLGBTQ+の人々が自分らしく働ける職場づくりを進めるための情報を提供し、各企業が積極的に取り組むきっかけを提供すること』を目的とした一般社団法人だ。

要望書には、一般社団法人 性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会、公益社団法人 Marriage For All Japan- 結婚の自由をすべての人に、一般社団法人 work with Pride、の呼びかけ3団体に加え、6つの企業の幹部が呼びかけ人となっている。

また、要望書提出の2月17日時点ですでに13企業が賛同企業に名を連ねていた。外資系だけでなく国内の大企業もいくつか含まれている。

記者会見には呼びかけ人の企業幹部も参加し、次のようなコメントを寄せている。

「日本の大企業は海外との取引が半分を超えているが、働き方や人材開発の面でも日本の本社が親会社として企業を代表できなくなっている」

「海外から赴任しても、パートナーと暮らすのが困難、LGBTの家族がいるといったことが社会的な障壁となり、台湾や米国、カナダに移ってしまう」

「健全なカルチャー、健全な風土がなければ企業は生き残れない。多様性を受け入れないことは日本の停滞の原因である」

人材確保にしても、サービスの提供(つまり顧客の獲得)にしても、世界が大きく変化しているのに、日本だけ「社会が変わってしまわずにいる」ことへのビジネス分野の危機感は今後、ますます強まるだろう。

岸田首相は官邸で3団体の代表と面会した際の冒頭のあいさつで、『前総理大臣秘書官の発言につきましては、不当な差別と受け止められる、極めて不適切なものであり、多くの皆様方に不快な思いをさせた』と謝罪している。秘書官発言の経緯については、すでに多くの人を取り上げ、屋上屋を重ねることになるが、この点も改めて復習しておきたい。



# 出会いは世界を広げていく

## 交流会を通して

新連載 第1回

土肥いつき DOHI ITSUKI

京都の公立高校教員。24時間一人パレード状態のトランス女性。趣味の交流会運営で右往左往する日々を送っている。

### わたしの趣味は交流会

みなさん、あらためてはじめまして。今回新たな連載を担当させていただき土肥いつきと申します。わたしは京都の公立高校で教員をしています。教科は数学ですが、あまり得意ではありません。2021年に人間科学の博士号を取得したので、専門はどちらかというところと教育社会学、あるいは社会学になるのでしょうか。高校では長く人権教育を担当しており、かれこれ25年になります。ここ10年は校内の人権教育担当だけでなく、京都府立高等学校人権教育研究会の事務局もしています。人権教育にどっぷりとはまるきっかけは、部落出身生徒や在日外国人生徒との出会いでした。

日本性教育協会とのおつきあいは、2009年4月からなので、もうかれこれ15年になります。その間、『現代性教育研究月報』に「いつきのつれづれ日記」を、『現代性教育研究ジャーナル』に「『ありのままのわたしを生きる』ために」「いつきの”ヒューマン・ビーイング”・人権について考える」といった連載を書かせていただきました。これらの連載の中にも部落出身生徒や在日外国人生徒とのかかわりに触れたものがあります。ただし、わたし自身は性教育については素人です。にもかかわらず連載をさせていただいているのは、ひとつにはわたし自身がトランス女性であること、もうひとつは教員としてたくさんの失敗を繰り返しながらも、たくさんの被差別マイノリティの子どもたちと出会ってきたからだろうと思っています。

世間では、わたしがいろいろところで発言をしていることから、わたしのことを「活動家」と思っておられる方がおられるようです。しかし、わたし個人のアイデンティティは、まずは「学校教育労働者」です。同時に「研究者」でもあります。そして両者をつなぐものとして「実践者」というアイデンティティがあります。とりわけ「実践者」というアイデンティティは、これまでさまざまな「居場所づくり」にかかわってきたことに起因しています。

たとえば、京都で性別や性的指向／嗜好にとらわれないで語り合える場をつくっている「玖伊屋」には

1999年にはじめて参加し、現在はスタッフとしてかかわっています。2000年に立ちあげた「セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク」には設立集会から参加し、現在は副代表として関西地区でのセミナーの開催にかかわっています。2006年には関西医科大学ジェンダークリニック受診者の会である「まんまるの会」には立ちあげメンバーとしてかかわり、現在も世話人代表をしています。同じく2006年から「トランスジェンダー生徒交流会」の活動を開始しました。このようなセクシュアルマイノリティ系の集まりだけではありません。1994年に「京都・在日外国人生徒交流会」を立ちあげました。現在は「全国在日外国人生徒交流会」の運営にもかかわっています。また、2009年には「全国在日外国人生徒交流会卒業生の会」も開始しました。これらの中にはできた当初の勢いが少なくなってしまった集まりもありますが、ほとんどが現在も活動を続けています。

この中で「玖伊屋」「セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク」「まんまるの会」は対象が大人です。一方、「交流会」は生徒たちを対象としています。前者はピアな集まりということで、いわば自助グループということになるのでしょうか。後者は子どもを対象とする「居場所」で、たとえば「ユースサポート」ということができるかもしれません。ただ、わたしがおこなっている、マイノリティの子どもたちの集まりである「生徒交流会」は、一般的なユースサポートとは少々趣が異なるのではないかと思います。もちろん、活動内容は話しあいであったり、レクリエーションであったりと、ユースサポートでおこなわれる居場所づくりとそれほど大きな違いはありません。しかしもっとも大きな違いは、主催しているのは教員であるということだと思います。

そこで、この連載では交流会をするきっかけになったことや、交流会で出会った生徒たちのこと、そして交流会という場の「不思議さ」について書いていこうと思います。

# BOOK GUIDE

## 今月のブックガイド

### 男児の性被害の予防と支援

子どもへの性暴力について社会的な関心が高まるなか、まだまだ見過ごされているのが男児の性被害である。実際には、性暴力を受ける男児は少なくないが、性被害の予防や支援のメッセージは、女兒に向けられたものがほとんど。「男児に伝えるのに、よい資料はないだろうか」という現場のニーズに応えてくれるのが本書である。

『キツネくんのひみつ』は、ドイツで生まれた絵本である。森の幼稚園に通うキツネくんの楽しみは、隣に住んでいるオオカミのおじさんとのツリーハウスづくり。家族ぐるみでつきあいのあるおじさんは大工仕事が得意で、キツネくんのあこがれの存在。留守番だって、おじさんと一緒なら大丈夫。楽しい時間を過ごしていたのに、おじさんはキツネくんのからだに嫌なさわりかたをした。「やめて!」と言ったのに、おじさんは鼻先にキスまでしたうえ、こわい声で言ったのだ——「これはほくらのひみつだからな」。

秘密をばらしたら、パパとママが悲しむぞ。もうツリーハウスは作らないからな。おじさんの声が頭に残り、キツネくんは何も言えない。大好きなおみやげも食べられない。おじさんが夜にしのびこんできても、からだ石みたいになって動けなくなるキツネくん。すっかり元気をなくしたキツネくんに、幼稚園のふくろう先生は優しくお話をしてくれた。

悪い秘密はお腹のなかで育つトゲトゲみたいなもの。約束を守って悪い秘密を話さずにいると、トゲはどんどん大きくなってお腹がとても痛くなってしまいます。話したら、痛みはすっと消えるのだ、と。「もしかして、おなかがいたくなるひみつがあるんじゃない?」

性被害を受けた子どもの戸惑いと苦しみは、からだに触られた恐怖や嫌悪感だけではない。大切な家族や



### キツネくんのひみつ

ゆうきをだしてはなそう

カロリーヌ・リンク作/ザビーネ・ビュヒナー絵  
亀岡智美監訳/宮崎直美訳  
誠信書房  
定価 1980 円 (税込)

先生に秘密があることへの罪悪感。つらかったできごとをひとりでかかえている孤立感。そして、苦しみや困惑を語るすべをもたないことへの無力感なのだ。だからこそ、大人は子どもに対して、サプライズのようなワクワクする「よい秘密」とグルーミング(加害者の手なずけ)である「悪い秘密」のちがいははっきりと教え、「いつでも話してね」と伝える必要がある。

幼い子どもに「赤信号では渡らない」「叩いちゃダメ」と繰り返すように、「プライベートパーツを見たり、触ったりするのはルール違反」と教えることは、子どもの安全を守るための基本的な教育である。とはいえ、子どもは「叩いたんじゃない、蹴っただけ」など、文字通りに理解し、概念を理解できないことがある。そのため、具体例を挙げながら、子どもが理解しているか確認するやりとりが求められる。加えて、ふくろう先生が話したように、「おなかが痛くなるひみつ」といった子ども自身の感覚を例示するのも有用である。性暴力に限らず、あらゆるストレスへの対処法を教えることにつながるからだ。

おじさんにされたことや夜が怖くなったことを打ち明けたキツネくんは、ふくろう先生に「とてもゆうかんね!」と讃えられ、家族からも「よくはなしてくれたね」と抱きしめてもらう。笑顔が戻ったキツネくんを支えたのは、身近なおとなに受け入れられることでの安心感だ。これは、性被害だけでなく、もちろん男児に限らず、トラウマ体験から回復するために重要なことである。幼児から小学生まで、いや、思春期の若者やおとなにも、広く読まれてほしい絵本である。

全編が緑を基調とする美しい色合いで彩られており、手にするだけでも安らぐ作品である。キツネくんと同じように、ひとりで苦しみをかかえている日本の子どもに届けたいという訳者の熱い思いが伝わり、監訳者の亀岡智美先生の解題もわかりやすい。

(大阪大学大学院教授 野坂祐子)

▶▶ 5月28日(日曜日) 9:30~15:30 オンライン開催 ◀◀

## 第52回セックス・カウンセリング研修会 性暴力とセクシュアリティ (仮)

### 【主なプログラム】

- 講義1「性暴力とセクシュアリティ～加害者臨床から学ぶ子ども性加害の実態」(ビデオ講演)  
齊藤章佳 (大船榎本クリニック)
- 講義2「性犯罪者の査定と治療」高橋 哲 (お茶の水女子大学准教授)
- 講義3「トラウマインフォームドケア：性暴力の理解と支援の基本」野坂祐子 (大阪大学大学院教授)
- 講義4「フォレンジック看護の視点から考えるとしての性暴力被害者支援」加納尚美 (茨城県立医療大学教授)
- 講義5「ワンストップ支援センターでの被害者支援状況—sexologistの視点を加えて—」  
大川玲子 (国立病院機構千葉医療センター非常勤医師/NPO法人千葉性暴力被害支援センターちさと理事長)
- カウンセリングに関する講義+ロールプレイの説明/ロールプレイ

**方法** オンライン (ZOOMを使用) ※完全オンライン (アーカイブ配信無し)

### 【参加費・問合せ先等】

**主催**：日本性科学会 tel/fax03-3868-3853 E-mail office@sexology.jp <https://sexology.jp/>

**参加費**：一般 8,000円、会員 5,000円、学生(会員、非会員とも)1,000円

**申込み**：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/026r16gy6kv21.html>



▶▶ 7月8日(土) 日本「性ところ」関連問題学会 第12回学術研究大会 ◀◀

## 子どもの生とセクシュアリティ 大人は現代の子どもたちの性とどう向き合うのか

### 【主なプログラム】

- 大会長講演：「小児性愛という病—それは、愛ではない」齊藤章佳 (大船榎本クリニック)
- 現代のトピックス：「子どもたちとともに学ぶ『射精道』」今井 伸 (聖隷浜松病院)
- 教育講演：「<性>なる家族—なぜ性虐待は隠蔽されるのか」信田さよ子 (原宿カウンセリングセンター)
- メインシンポジウム：「子どもの生とセクシュアリティ～それぞれの現場から見える世界」  
山口修平 (一宮学園) 櫻井裕子 (さくらい助産院) 今西洋介 (大阪大学大学院) 高橋幸子 (埼玉医科大学)
- 基調講演：「子どもの生とトラウマインフォームドケア」小澤いぶき (認定NPO法人PIECES・子ども家庭庁政策アドバイザー)
- 公開講座 (参加費無料)：「知識とともに態度のモデルを～子どもに話す生と性」小島慶子 (タレント・エッセイスト)

### 【会場】

ホテルメトロポリタン (東京都豊島区西池袋1丁目6-1)

### 【参加費等】

会員・事前 2,000円、当日 3,000円 一般・事前 3,000円、当日 4,000円 学生・事前 1,000円、当日 2,000円

事前申込みは、ホームページから <http://www.jssm.or.jp>

### 【問合せ先】

日本「性ところ」関連問題学会第12回学術研究大会事務局 医療法人社団 明善会 榎本クリニック 担当：大村  
tel：03-3982-5345 / fax：03-3982-6089 E-mail: sei-kokoro1@enomoto-clinic.jp



すぐ授業に使える

# 性教育実践資料集

## 中学校改訂版

〈主な内容〉

- 第1章 中学校における性教育（性教育を実践するにあたって／性教育の目的と意義）
- 第2章 性教育の実践（性教育の現状と実践の課題／学習指導要領における性教育の取り扱い／性教育の指導体制／指導計画の作成／性教育実施上の留意点／家庭・地域との連携／中学校の性教育の今後に向けて）
- 第3章 指導事例（各学年における指導計画と指導の流れ／8つの1年生の指導事例／6つの2年生の指導事例／6つの3年生の指導事例／7つの個別指導事例／5つの組織の指導事例）
- 第4章 参考資料（性行動経験率／性的なことへの関心割合／自慰経験率／性的関心の経験割合の推移／性へのイメージ／性感染症報告数の推移／梅毒患者報告数の推移／HIV・エイズ感染者の動向／人工妊娠中絶実施率及び推移／用語解説）



定価 2,200 円（税込） B5 判・224 ページ

# 「若者の性」白書

## 第8回 青少年の性行動全国調査報告

〈主な内容〉

- 序章 第8回「青少年の性行動全国調査」の概要
- 第1章 変化する性行動の発達プロセスと青少年層の分極化
- 第2章 青少年の性規範・性意識からみる分極化現象
- 第3章 家庭環境や親子のかかわりの違いは青少年の性行動に影響を与えるか
- 第4章 知識・態度・行動の観点からみた性教育の現状と今後の課題
- 第5章 青少年の性行動と所属集団の性行動規範
- 第6章 青少年の避妊行動の実態と包括的性教育の可能性
- 第7章 性的被害と親密性からの／への逃避
- 第8章 青少年の性についての悩み  
～自由記述欄への回答からみえるもの～



定価 2,420 円（税込） A5 判・256 ページ

編／一般財団法人日本児童教育振興財団内 日本性教育協会 発行／小学館

全国の書店にて、ご購入いただけます！